

約30年ぶりの発刊
第3巻（平成史）

激動の時代
「平成」を振り返る

栗山町史



【町史編さん室】（左から）
衣川 秀敏さん、青木 隆夫さん、阿部 敏夫さん、高倉 淳さん

栗山町史第3巻（平成史）が発刊され、編集に携わった町史編さん推進員が3月29日、佐々木町長へ完成の報告に訪れました。

町では、町史発刊にあたり、平成28年から編さん室長と推進員の4人で構成される「町史編さん室」を設置し、これまで資料収集や会議などを行い編集作業を実施。104回の編集会議や広報くりやまコラム「こんにちば！町史編さん室です」の連載も行いながら、6年間をかけて完成しました。

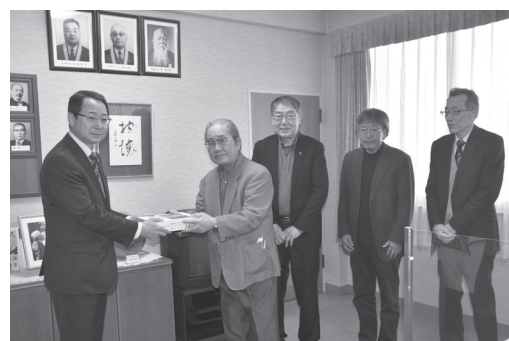
町史は、通史編（572ページ）と資料編（330ページ）の2冊1組で、栗山町の開拓の歴史や地名の由来をはじめ、北海道日本ハムファイターズ前監督の栗山英樹さんの優勝パレードや、栗山町開拓130年記念式典の様子など、近年の出来事である「平成史」について表記されています。

編さん推進員の皆さんは「多くの方々の協力で完成しました。ぜひ多くの町民に手に取ってほしい」と笑顔で話していました。

栗山町史第3巻（平成史）は、町図書館などで閲覧できるほか、役場で頒布（はんぷ）（2冊1組1万5千円）も行っています。

「多くの町民に手に取ってほしい」

【問い合わせ】
町経営企画課地域政策グループ
☎7502



発刊に携わった青木さん。編さん室は今後「町史資料調査室」として、引き続き調査を行います。

佐々木町政 2期目がスタート

無投票により再選 4月12日に初登庁



当選後初登庁



職員へあいさつ

任期満了に伴う4月5日告示（4月10日投開票）の栗山町長選挙は、現職の佐々木学氏以外に立候補届出はなく、無投票で再選となりました。

2期目町政のスタートとなる4月12日朝、多くの職員が出迎える中、佐々木町長が初登庁し、職員に対し新たな決意を伝えました。

佐々木町長は職員へのあいさつで「町政課題を解決に導くことはもちろん、人口減少・少子高齢化への対応、さらには今般の新型コロナウイルスの影響を受けている『地域経済の立て直し』と『地域活力の再生』に、全力を傾注したい」と語り、職員一丸となった政策実現への尽力を呼びかけました。

佐々木町長が掲げる政策目標
元氣創出！栗山新時代を町民とともに

1. 地域経済を支える
「産業」が元氣なまち！
2. 安全・安心な暮らしを守る
「社会」が元氣なまち！
3. 次代のくりやまを担う
「子どもたち」が元氣なまち！
4. 多彩な魅力を育む
「ひと」が元氣なまち！
5. 連帯意識を高める
「地域」が元氣なまち！



町長室自席にて